

## まちとくらしのトライアル実践企画発表会 6月4日

### ～【赤羽台】ミュージアムで未来の団地風景をつくる社会実験が始動～

独立行政法人都市再生機構（以下、UR都市機構）は、「URまちとくらしのミュージアム」（以下、ミュージアム）の緑豊かな屋外空間を使って、新たな風景をつくり出す活動、デザイン、ビジネスの実証実験「まちとくらしのトライアル実践（仮称）」（以下、トライアル実践）を、7月から現地で開始します。

トライアル実践では、ミュージアムを実験場に、昨年度実施した「まちとくらしのトライアルコンペ」（後述）の受賞企画9点のアイデア実現化を試みます。

実施に先立ち、6月4日（火）ミュージアムでプレス向け現地発表会を開催します。当日は、当施設のプロデューサーであり、コンペの審査委員長も務めた馬場正尊氏（オープン・エー代表取締役／東北芸術工科大学教授）と共にトライアル実践の全体像、各実施企画の見どころ、そしてミュージアムのイベント等年間カレンダーを紹介します。また、会場にはトライアル実践の各企画実施者が一堂に集まり、直接、実施内容を説明する貴重な機会ですので、是非、ご取材ください。



#### 【報道機関のお問い合わせ先】

UR都市機構 技術監理部 企画課  
UR都市機構 広報室 広報課

電話：045-650-0705  
電話：045-650-0887

## 1 プレス向け発表会について

- 日時 : 2024年6月4日（火） 13:30～14:30
- 場所 : URまちとくらしのミュージアム【ミュージアム棟 1階エントランスホール】
- 内容 : トライアル実践の全体像
  - 実施企画の見どころ
  - ミュージアムの年間カレンダーについて
- 取材対応 : 14:30以降、プロデューサー並びに受賞企画者の個別取材時間を設けます。
- お申込み : 取材をご希望される方は、別紙の参加申込用紙をご確認の上、必要事項をご記入いただき、6月3日（月）正午までにご提出ください。
- その他 : 当日は、各社腕章及び名刺をご持参ください。  
駐車場のご用意はありませんので、予めご了承ください。

## 2 まちとくらしのトライアルコンペについて

当コンペでは、ミュージアムの緑豊かな屋外空間を実験場として、新たな風景をつくり出す活動、デザイン、ビジネスのアイデアを令和5年12月～令和6年1月で募集しました。応募84点から最優秀賞「赤羽台農耕団地」以下、受賞企画9点（詳細は下記URL）を決定し、URはこれら受賞企画者と、今年度から各企画の実現化を目指します。実現化に向けた活動を通して、将来、共同で新たな事業創出につなげる「事業パートナー」となることも視野に入れています。

URL : [https://akabanemuseum.ur-net.go.jp/special/trial\\_competition/](https://akabanemuseum.ur-net.go.jp/special/trial_competition/)



まちとくらしのトライアルコンペ募集チラシ



最優秀賞の「赤羽台農耕団地」

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



—— 街に、ルネッサンス ——  
\*UR 都市機構

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

UR都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

## ■施設概要

「URまちとくらしのミュージアム」は、我が国の住まいとまちづくりを対象とした「都市の暮らしの歴史を学び、未来を志向する情報発信施設」です。スターハウス等保存住棟4棟に新たな展示施設「ミュージアム棟」を加えた計5棟、さらに屋外空間からなるUR都市機構の企業ミュージアムになります。(令和5年9月15日開館)

ミュージアム棟では、我が国の鉄筋コンクリート造集合住宅の先駆けとなった、同潤会代官山アパートを始めとする4地区計6戸の「復元住戸」や壁床4面スクリーン投影による映像展示、模型やパネルを用いて都市と集合住宅の暮らしの歴史や変遷を紹介しています。(公開概要は下記のとおり)

登録有形文化財でもあるスターハウス等保存住棟4棟では、これからの暮らしの提案を行うほか、ストック社会に対応した改修技術等の実証フィールドとして活用します。当ミュージアムは、新たな暮らし方を探求し、トライアルする「まちづくりの実践場」として活動を展開します。



## ■ミュージアム棟の公開概要

1. 開館時間：10:00～17:00
2. 休館日：水曜日・日曜日・祝日（年末年始・臨時休館あり）
3. 見学方法：説明員付き館内ツアー形式（1回最大20名程度）でのご案内  
1日3回(10:00～／13:00～／15:00～)  
※復元住戸等、一部施設では車いす等での乗り込みが困難な箇所があります。  
※保存住棟4棟については外観のみの公開になります。
4. 申込方法：公式WEBサイトでの事前予約制／入場無料
5. アクセス：JR「赤羽」駅西口より徒歩8分
6. 住所：東京都北区赤羽台一丁目4-50
7. 電話番号：TEL. 03-3905-7550
8. URL：<https://akabanemuseum.ur-net.go.jp>



URまちとくらしのミュージアム トライアル実践企画発表会  
6月4日(火) 参加申込用紙

ご参加を希望される方は、恐れ入りますが6月3日(月)12:00までに、「参加申込用紙」をFAXまたはメールにて、お申し込みください。

UR 都市機構 広報室広報課 宛

FAX番号:045-650-0889  
メールアドレス: newsletter@ur-net.go.jp

貴社名		
貴紙、誌、番組名		
ご所属部署名		
ご担当者名／人数	／合計名	
撮影 (どちらかに○を付けてください)	有 [スチール( )台・VTR( )台] / 無	
ご連絡先	TEL:	
	携帯:	
	メールアドレス:	

■ご取材にあたっての注意点

- 以下の目安を参考に、ご取材人数はできるだけご調整をお願いいたします。  
※人数の目安:新聞・通信社:1企画2名様/ムービー:1番組3名様
- 駐車場はございませんので、予めご了承ください。また、路上の駐停車もご遠慮ください。
- お申し込みいただいた方の個人情報は、報道公開にて必要な管理にのみ使用し、その他の用途には使用いたしません。また個人情報保護のため、責任を持って管理いたします。